

全測連九州地区協議会 経営協議会

知恵出し、現状打破を

全国測量設計業協会連合会九州地区協議会(福岡市)は28日、鹿児島市の城山観光ホテルで16年度全測連九州地区協議会経営協議会を開き、九州各県から会員ら約100人が参加し、県政や



活発に意見を交わす会員ら
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

経済、業界の実情などについて協議した。

冒頭、福田会長が「地方交付税の削減問題など厳しい状況が続くが、各県が知恵を出し合ってこの難局を乗り越えていくように活発な意見交換を行うしてほしい」と挨拶の後、全国測量設計業協会連合会の荒谷壽一副会长が「各県にとって少しでもプラスになるように」など祝辞を寄せた。協議会では、「地域に信頼される業界を目指して」をテーマに、各県協会の県政・経済、業界の実情などのほか、アンケート調査の結果をもとに共通の課題、新しい発見などについて話し合われた。また、入札制度や

T推進における現状などについても活発に意見交換した。

このほか、全測連建設関連戦略特別委員会の椎橋信幸委員長を講師に招き、「測量設計業の展開と役割などについて説明、戦略」と題して基調講演を実施。価値観の多様な環境問題、循環型社会など日本は大きく変わろうとしていることや今後の測量設計業の在り方と役割などについて説明、

道路技術講習会

技術水準向上を目的に



講演を行う牟田神技術次長
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

るもので、今回は本県が会場となり県内外から300人を超える参加があり、高度・多様化する社会的要請に即応する研究開発や技術の振興・普及を図った。

日本道路建設業協会九州支部、県舗装協会、日本道路協会九州ブロック連絡会の3者共催による16年度「道路技術講習会」が28日、鹿児島市の城山

観光ホテルで開かれ、高度・多様化する道路情勢について4人の講師がそれぞれ講演を行った。同講習会は、道路技術の研さんと技術水準向上を目的に毎年、九州各県が持ち回りで実施してい

て実施。建設三大災害対策を重点項目を中心に厳しく診断し、交通・労働災害防止対策の徹底を促した。

このほか、上村大一郎労務委員長を班長とする2班は、中間建設、上木原建設、今給黎建設、森建設の4現場を診断。今

厳しくチェックする診断員ら
＝枕崎市の現場で

加世田市の南薩建設業会館に戻って行われた反省・報告会では、安全管理一般、災害防止対策、雇用管理に沿って、各班の診断員が厳しく診断した。加世田市の南薩建設業会館に戻って行われた反省・報告会では、安全管理一般、災害防止対策、雇用管理に沿って、各班の診断員が厳しく診断した。加世田市の南薩建設業会館に戻って行われた反省・報告会では、安全管理一般、災害防止対策、雇用管理に沿って、各班の診断員が厳しく診断した。

石綿含有製品の説明も

16年度建築技術者研修会

県土木部主催の16年度建築技術者研修会が28日、名瀬市の奄美観光ホテルであり、関係官庁や各事業所の担当者ら多くが出席して講義を受けた。



公共工事のみならず民間分野にも大いに生かしてほしい」と挨拶、受講者を激励した。

午前中は施工における留意点を含む15年度建築・電気・機械各工事の検査・監査概要の説明があった。午後からは、労働発生状況の推移や建設現場における主要災害防止の防止、電子納品等の研修が行われた。

職長・安全衛生責任者 講習
労災防止等 知識深める



要、職長・安全衛生責任者の役割、統括安全衛生管理の進め方などについて講義した。受講者は2日間、作業員の適正配置、安全施工サイクルと現地KY、異常時・災害発生時における措置、ヒューマンエラー防止などについて学ぶほか、グループ討議なども行う。

「事務所内各課の連携強化や関係者間での共通認識の連携強化が必要」と提言した。

続いて県土木部の牟田神宗正技術次長が「県の道路整備について」登壇。「安全・安心な生活を支

援しつつ、人や環境に優しく広域かつ効率的な物流を支える道づくりを目標に、ともに取り組みましよう」と結束を呼び掛けた。

このあと、松尾鋪道(株)の石原俊郎技術部長が「私が経験したアスファルト舗装」、福岡大学工学部社会デザイン工学科の佐藤研一助教授が「リサイクルを考えた道路建設と最近の動向」の演目で講演した。

研修会では、県農村振興技術連盟と興技術連盟の高田治委員長が「本県における農業農村整備の動向」、県大隅農地事務所の下松正一次長が「大隅地域の農業農村整備について」、(株)三窪建設の三窪利社長

が「建設業からの農業参入」と題しそれぞれ講演した。

このうち、三窪社長は、農業参入のきっかけや参入の意義と社会的効果などについて講演。この中で、農業関係者等との協議から、営農目的の選定(アスパラガス)や農地を確保するまでの経緯などについて詳しく説明した。

なお当日は、県土地改良事業団体連合会主催の16年度農村総合整備推進事業研修会も行われた。